



「皿かぶり競争」のはじまりは？

昭和28年 町民体育大会での皿かぶり競争の様子（有田小学校）



今年「SAGA2024 国スポ・全障スポ」の年です。有田町では、10月に軟式野球とウエイトリフティングが開催されることになっていますが、県民が気軽に参加できるデモンストレーションスポーツとして「皿かぶり競争」が採択され、陶器市の中日5月3日（金・祝）に行われたところ。その影響か、町内外から「皿かぶりはいつからはじまったの？」という質問が、資料館に多く寄せられるようになりました。そこで今号では、「皿かぶり競争」のはじまりについて、調査した結果を皆さんに報告したいと思います。

さて、この「皿かぶり競争」ですが、町内小学校の運動会でおなじみの、頭に素焼きのお皿をのせ、手は触れず、皿を落とさないようにゴールを目指す競技です。まずはこの競技について、古写真、昭和初期～中期の映像、新聞、小学校の記録誌などのあらゆる館蔵資料を調査しました。その結果、昭和27年（1952）の中樽地区運動会の写真と、昭和28年（1953）の町民運動会の写真を見つけることができました。現在確認されている中で最も古い写真です。

ただし、「運動会を挙行」「数十もの競技を実施」という記録はあるものの、競技内容や、「皿かぶり競争」がいつから始まったのかなどが記されている資料は発見できませんでした。

そこで、以前から有田小学校から始まったという話を聞いていたため、町内の高齢者の方に小学校で「皿かぶり競争」を行ったかお伺いし、どこまで遡れるか辿ることにしました。参考までに外尾小学校（現有田中部小学校）出身者も含めて調査した結果は下記のとおり。

- ①76歳男性（有田小学校 昭和30年入学）
小学校で皿かぶり競争をやっていた。
- ②75歳男性（外尾小学校 昭和31年入学）

外尾小学校ではやっていない。

- ③83歳女性（有田小学校 昭和23年入学）
皿かぶりはやっていた。
- ④80代男性（外尾小学校 昭和20年代入学）
自分はやっていないが、子どもの世代（昭和40年代）は、外尾小学校でもやっていた。
- ⑤88歳男性（有田小学校 昭和18年入学）
小学校の時やっていた。いつ頃始まったかは分からないが戦前からやっていたと思う。有田小学校から始まって、町民運動会や外尾小学校にも広がっていたと聞いている。地区内の窯元さんが協力的で、素焼きの皿を快く提供してくれた。高学年の時、窯元さんに素焼きの皿をもらいに行った覚えがある。
- ⑥94歳女性（有田小学校 昭和12年入学）
小学校低学年からやっていた。もっと前（昭和初期）からやっていたように思う。ルールも現在と変わらない。当時は運動会は一大イベントで、地区別対向戦だった。保護者の方の応援が熱かった。
なんと昭和12年（1937）までは、確実に遡ることができました。さらにもっと前から行われているので、「皿かぶり競争」は100年近い歴史を有しているのかもしれませんが。当館では、引き続き「皿かぶり競争」の由来について調査を進めてまいります。何か情報をお持ちの方は、どうか資料館までお知らせ下さい。（永井）

昭和27年中樽地区運動会での皿かぶり競争の様子（泉山にあった有田工業高等学校）



皿 季刊 山

No.142

夏
2024

ミニ企画展開催！（旧田代家西洋館・有田陶磁美術館）

令和6年度は初めて、有田陶器市の期間中に旧田代家西洋館と有田陶磁美術館にてミニ企画展を開催しました。その様子についてご紹介します。

●旧田代家西洋館ミニ企画展 「歴史の川ざらい ～ベンジャラを探そう！」成果展

このミニ企画展は、令和5年8月3日に実施した夏休み子ども向け講座「第10回 歴史の川ざらい～ベンジャラを探そう！」に参加した子ども達が、川の中に入って実際に見つけた陶片の現物と、その中から一つ選んで、元の形や文様の説明をパネルで紹介したものです。例年は、資料館の冬季の企画展にあわせて展示していましたが、令和5年度は資料館企画展を実施しなかったため、子ども達の成果を披露する機会も失われてしまいました。

しかし、この歴史の川ざらいは、有田ならではの景観の中に秘められた歴史の一端を、子ども達が自らの力で発見する唯一無二の取り組みです。せっかくの子ども達の成果を、できるだけ多くの方に知って、見ていただきたいと考え、たくさんの方が有田町に集まる有田陶器市の期間中に、旧田代家西洋館2階にて展示することとしました。

連日多くの方がやきものの購入の合間に西洋館を訪れ、有田の歴史の一端に触れていただいた様子。特に陶器市後半は天気にも恵まれ、連日100名を越す入館者にご見学いただきました。

ミニ企画展会場全景
（西洋館2階）



解説パネル展示風景



●有田陶磁美術館ミニ企画展 「古陶磁名品展」

有田陶磁美術館は、佐賀県の登録博物館第1号として昭和29年（1954）5月1日に開館し、今年で70周年を迎えました。建物は明治7年（1874）に建てられた「石倉」で、近接する国指定重要文化財「旧田代家西洋館」と並んで、有田の明治時代を象徴する建物です。それに因んで平成30年に美術館の常設展示を、明治期主体のやきものに一新しましたが、それまでは江戸期以来の古陶磁の名品を年代ごとに展示していました。

展示替えから5か年が経過し、以前展示していた古陶磁の名品たちを、再び目にしたいという要望が多数寄せられたこと、また、有田陶器市期間中に、陶磁美術館でも何かイベントができないかと考えた結果、このミニ企画展を開催する運びとなりました。

ミニ企画展は2階の一区画、わずか展示ケース4つ分のスペースではありましたが、それぞれのケースに「初期伊万里様式」「古九谷様式」「柿右衛門様式」「鍋島様式」の製品が3～7点ほど並び、来館者の目を楽しませました。

このミニ企画展は、今後は毎年の恒例にしたいと考えています。来年ふたたび名品たちと再会することを、どうぞ楽しみにお待ち下さい。

ミニ企画展会場全景
（美術館2階）



初期伊万里様式について紹介した展示ケース



有田内山伝統的建造物群保存地区は、平成3年度に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。以後、国や県の補助も受け、町並みの景観を維持するために、延べ131件の指定物件の修理助成を行ってきました。(助成率は80%、限度額600万円)。令和5年度は、下記の修理を実施しました。

令和5年度 保存修理事業

◎上幸平・鳥谷益男家（外壁修理）

屋根、外壁、内部も全てに傷みが激しく、早急に修理が必要な状態でした。一階は店舗の改造を繰り返し、柱を抜いて内装が作られていました。今年度は、正面外壁のパラペットを取り払い、旧状に復するための屋根外壁の修理工事を行いました。また、構造を補強するために、一階内部に壁を新設しました。

修理前



修理後



令和4年度繰越 保存修理事業

◎幸平・深川製磁店舗（バルコニー復原、外壁修理）

令和4年9月、台風の風雨をきっかけに、正面三階のバルコニーの一部が崩落しました。このバルコニーは平成13年度の保存修理工事で復原したものでしたが、モルタルにクラックが入り、雨漏りが生じたことで、下地木部が腐食し、モルタルの一部が落下したものです。そこで今回の修理では、安全を最優先に工法の検討を行い、軽量モルタルを使用することでバルコニーの重量を抑えることにしました。また、雨水の侵入を防ぐことはもちろん、バルコニー内側床部に入る雨水の排水にも配慮しました。

また、二階、三階の外壁に剥落、クラックが見られ、タイルのクラックからの雨漏りが考えられました。そのため外壁の点検、修理も行いました。工法の検討に時間を要したことから事業を5年度に繰り越し、この度完了しました。

修理前



修理後



伝建地区での現状変更（新築、外観の変更、解体等）には申請が必要です。規制の内容や地区の範囲、修理事業等に伴う助成内容、手順等については、有田町教育委員会文化財課まで、お問い合わせください。

令和7年度の修理事業・修景事業を希望される方は、令和6年6月末までに計画書の提出が必要です。

●お問い合わせ 文化財課 0955-43-2899



学芸員への 講話・研修依頼について

有田町文化財課及び当館では、町内外の皆さんのご要望にお答えして、各種講話や研修などを随時行っています。学校の授業の一環で行うこともありますが、放課後児童クラブや、生涯学習講座、地区や市民団体の会合など多岐に渡ります。たとえば唐船城や泉山磁石場といった史跡探訪や、遺跡等での現地説明会、やきものや地区の歴史についての講話など様々です。時にはご要望に添えない場合もありますが、できるだけ皆さんのご希望に叶うよう鋭意努力をしているところです。ご希望の際には、当館（0955-43-2678）まで、まずはお問合せください。

令和2年度有田小学校地域学習で、古地図を手に有田の伝説を学ぶ様子



入り口の掲示板が 新しくなりました

これまで長い間、資料館で開催される企画展や有田町内の企画情報などを掲示していた木製の掲示板が、経年劣化により倒壊寸前でしたが、この度、装い新たに建て替わりました。主役は掲示物であるため、背後の掲示板がきれいになっていることに気が付く人は少ないと思いますが、これまで以上に頑丈になり、縁の下の力持ちとしてこれから広報に役立ってほしいと思います。

新しくなった掲示板



博物館実習生募集

有田町歴史民俗資料館及び有田陶磁美術館では、令和6年度の博物館実習の受け入れを、下記のとおり行います。

- 実習期間** 令和6年7月29日(月)～8月9日(金)の間の連続した5日間（※土日祝は休講）
- 内 容** 出土資料調査、館蔵資料整理、展示計画(案)作成、子ども向け講座への参加等
- 応募資格** 大学に在学中で、「博物館実習」以外の単位を修得（見込み）した者で、将来博物館や文化財に関連する職への就職を希望するか、これらに関心がある者。
- 定 員** 3名
- 受付期間** 6月30日(金)まで
※ただし定員に達し次第終了
- 申込方法** まずはお電話（0955-43-2678）頂き、定員に空きがあるかご確認ください。その後、博物館実習申込書をご提出下さい。

詳しい申込み方法はこちらをご覧ください。

<http://www.town.arita.lg.jp/rekishi/>



全国重要無形文化財 保持団体協議会 佐賀・有田大会 御礼

昨年の11月に開催した全重協佐賀・有田大会及び秀作展は大盛況のうちに終了いたしました。多くの方にご来館、ご参加、ご協力いただき、ありがとうございました。

これまでの館報でもお伝えしていた通り、全重協は16の団体が加盟しており、所在する市町村が持ち回りで大会と秀作展を開催しています。そして令和6年度は、伊勢型紙技術保存会の所在する三重県鈴鹿市で10月17日から開催します。ご都合がよろしければ是非皆さんも足を運んではいかがでしょうか。

有田町歴史民俗資料館公式ホームページが新しくなりました。更改に伴い、URLが変更しています。
新URL：<http://www.town.arita.lg.jp/rekishi/>

季刊『皿山』

通巻 142号（令和6年6月1日）
編集・発行 有田町歴史民俗資料館

〒844-0001 佐賀県西松浦郡有田町泉山一丁目4-1
☎ 0955-43-2678 FAX0955-43-4185
URL：<https://www.town.arita.lg.jp/rekishi/>